

<スーパーを営む M 社の仕訳をしなさい。>

- ① 以前に受け取った B 社振出の約束手形 5,000 円を期日前に銀行で割引き、手数料 100 円を差し引いた残額を普通預金に入金した。
- ② 休憩用の備品 300 円を購入し、代金は翌月末支払いとした。
- ③ ジャガイモ 1,000 円を K 社より仕入れ、代金として、以前に受け取った C 社振出の約束手形の裏書を行った。また、運賃 100 円については現金で支払った。
- ④ ジャガイモを 300 円で L 社に販売し、L 社振出の約束手形を受け取った。なお、発送費 100 円については現金で支払った。

- ⑤ ジャガイモを 1,200 円で販売し、代金として、以前自社が振り出した約束手形を受け取った。なお、発送費 100 円（先方負担）については現金で支払った。
- ⑥ 従業員から給料日前に前貸ししてほしいと頼まれ、100 円現金で支払った。
- ⑦ 給料日になったので、⑥の従業員の給料 500 円を、所得税 80 円、③の前貸し分を差し引いて現金で支払った。
- ⑧ Y 社社債を 1 口 97 円（額面は 100 円）で 10 口購入し、証券会社への支払手数料 30 円とともに翌月末に支払うこととした。
- ⑨ 上記⑧で購入した Y 社社債のうち、2 口を、1 口 80 円で D 社に売却し、代金を D 社振出小切手で受け取った。なお、売却の際に、売却手数料 40 円を現金で支払った。

- ⑩ 1 m² 10 円の土地を 400 m² 購入し、仲介手数料 1,000 円とともに、小切手を振り出した。
- ⑪ ⑩の土地のうち、150 m²を 1 m²あたり 12 円で K 社に売却し、代金は翌月末に受け取ることとした。また、売却手数料 100 円については、現金で支払った。
- ⑫ 商品券 500 円分を発行し、^{どがく}同額の現金を受け取った。
- ⑬ 商品 1,000 円を販売し、他店商品券 500 円と自店商品券 500 円を受け取った。
- ⑭ 決算日に保有している建物の減価償却費を計上する。なお、取得価額 1,000 円、残存価額は取得価額の 10%、耐用年数は 5 年、償却方法は定額法とする。（1 年分を償却）
- ⑮ 決算日になっても現金過不足（帳簿は 50 円、実際は 30 円）の原因がわからなかったため、調整処理をした。

<資産は A、負債は B、収益は C、費用は D を書きなさい>

・未収入金 ()、受取配当金 ()、他店商品券 ()

<帳簿組織^{ちょうぼそしき}について、() にあてはまる言葉を漢字で書きなさい>

通常^{つうじょう}、会社で起こる出来事は仕訳で表現され、() 帳に記帳される。その後、() → () に転記される。試算表の情報は、() を用いて、資産・負債・純資産が記載される () と、費用及び収益が記載される () に集計される。

一方で、伝票会計を用いる場合には、仕訳帳の代わりに、伝票が用いられる。伝票には、() 伝票、() 伝票、() 伝票の3種類ある。そして、各伝票から仕訳日記帳、総勘定元帳に転記されていくことになる。

<次の取引について、取引を擬制する方法での仕訳をしなさい。>

ジャガイモを 100 円で仕入れ、代金のうち 40 円は掛け、残額は現金で支払った。